



トーヨーカネツは従業員に健康保持・増進を促し、長く健康で働き続けられる職場環境作りを意識した施策に取り組んでいる。その一つが健康意識を高める情報発信に関する工夫だ。

新型コロナウイルス感染症対策で、社員を一室に集めてメンタルヘルスケアに関するセミナーなどを対面形式で実施することは難しくなった。そこで保健師がこれまで1時間以上かけて解説していたセミナーの内容を15分

## トーヨーカネツ



保健師と面談し健康増進へのサポートを受ける  
(トーヨーカネツ提供)

2020年からは経営者が率先して自身の健康管理方法などを紹介する冊子を発行し健康意識の向上につなげようとしている。これらの成果としてベテラン人材の長期的な活躍がある。年齢を問わず「ノウハウを身につけた人に長く働いてもらいたい」と森本チームリーダーという考えだ。同社は22年、健康経営優良法人に認定された。従業員の健康保持を重視しつつ持続的成長を目指す。(伊藤快)

の映像にまとめ従業員それぞれの配信している。開催日時が決められた従来のセミナーと異なり、オンデマンド形式で見たい時に視聴できる。タイトルも工夫しメンタルヘルスケアなどにも興味を持ってもらうようにした。確実に視聴してもらうよう、視聴後に行うアンケートへの回答を求める。人事総務部総務グループの野菜不足を補うための果物やサラダ、サンドイッチなどの軽食を100円で提供。仕出し弁当は低カロリーや塩分控えめなど健康に配慮した豊富なメニューを選べる。実定保健指導の対象従業員には、希望に応じて健康管理のアプリケー

フィジカル面でも施策を講じている。毎日増進のためスニーカーで通勤することを認める社員が増えたという。健康増進のためスニーカーで通勤することを認める社員が増えたという。

# メンタルヘルスケア解説配信